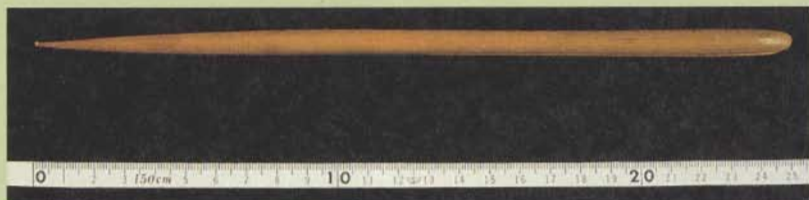
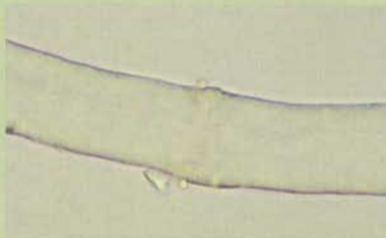


## 角筆(木製と象牙製)



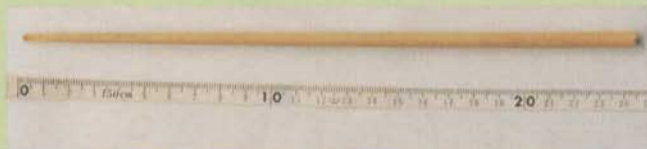
角筆(木製)(御調八幡宮蔵)

角筆(木製)の先端に付着した繊維の顕微鏡写真(1750倍)



角筆(木製)の先端  
古代紙の繊維が付着

角筆(象牙製)(鎮国守国神社蔵)



## 角筆の文字

宋版(思溪版)大般若経(岩蔵寺蔵) 卷五百四十五の前表紙に書入れられた鎌倉時代の漢字句(諸仏念衆生々々不念口子)と植物



宋版(思溪版)大般若経(岩蔵寺蔵) 卷二百四十一の後表紙に書入れられた鎌倉時代の年紀と平仮名交りの唱え文句(應長二年三月十七日僧禅与(花押)願申西に行く処)



## 角筆と角筆文献

文学部国語学講座 小林芳規

角筆の遺物は、木製、象牙製、竹製が発見されている。ここでは、木製と象牙製の角筆を写真で示した。特に、御調八幡宮蔵の木製角筆は、写真で見られるように、先端の材が割れてブラシ状に立ち上り、その隙間に古代紙の繊維を付着させていることが判り、角筆が筆記具であったことを物語っている。角筆で紙面等を凹ませて文字等を書いた文献は、平成三年六月現在で、四七〇点が全国から発見されている。その中から、角筆で訓点を書入れた平安時代の文献二点、角筆で文字や絵を宋版の表紙や余白などに書入れた鎌倉時代の文献四点、絵画の下絵に角筆の凹線が使われた室町時代の絵巻一点を写真で示した。

角筆で書入れられた訓点

銅慎無犯酒有犯斯戒非  
 盡形壽不得習弄兵仗手  
 龍繫飛鳥車輦騎乘快心  
 獸無得放火烧山林傷害  
 也馮塞流賣釣釣魚網殘

沙彌十戒威儀經・平安中期(十世紀)書写(石山寺藏)  
 訓点を角筆で施す(仮名に女手を使用。平仮名生成期の基礎資料の一となる)

限其時損成就法亦復  
 紐被偷成就物却徵法品第十  
 偷之物却徵之法其物

蘇悉地羯羅經卷中・平安時代(院政初期)書写(広島大学文学部蔵) 訓点を角筆で施す(四行目「却徵之」の右傍に「カヘシアラハ爪(ス)」)

角筆の絵



八幡大菩薩御縁起(御調八幡宮蔵) 絵巻(下絵に角筆の凹線)



宋版(思溪版)大般若経(岩蔵寺蔵) 卷二百七十六の後表紙に書入れられた絵(僧形)



宋版(思溪版)大般若経(岩蔵寺蔵) 卷四百三十四の後表紙に書入れられた絵(小鹿)